

「ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる」

会期: 2023年4月29日(土祝)～6月18日(日)
会場: 目黒区美術館

主催: ベルギーと日本展実行委員会 / (公財) 目黒区芸術文化振興財団 助成: (一財) 地域創造 後援: ベルギー大使館

- 作品・資料名のうち、本展主催者による仮題のものには、※印を付した。
- 寸法については、平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行とし、単位をcmとした。
- 展示期間が限定されるものは、展示期間の欄に具体的な期間を記した。
- 会場によって、展示されない資料・作品がある。本会場で展示されないものについては、展示の有無の欄に×印を付した。

番号	制作者名	作品・資料名	制作・発行年	材質技法・形状	寸法	所蔵者	展示期間	展示の有無
----	------	--------	--------	---------	----	-----	------	-------

第1章 光をえがく: ベルギーの印象派絵画と日本

1 白馬会とウィッツマン

1	中沢弘光 (原作: ロドルフ・ウィッツマン)	風景	制作年不詳	油彩・キャンバス	80.2×100.1	東京藝術大学		
2	ロドルフ・ウィッツマン	水汲み婦、ブラバンの夕暮れ	19世紀	油彩・キャンバス	78.4×98.3	東京国立博物館	5/23～6/18	
3	ロドルフ・ウィッツマン	風景	制作年不詳	油彩・キャンバス	100.0×80.3	東京藝術大学		
4	ロドルフ・ウィッツマン	水に映ずる家	制作年不詳	油彩・キャンバス	81.9×66.1	石橋財団 アーティゾン美術館		

2 太田喜二郎と児島虎次郎のベルギー留学

(1) ベルギーの画家たち

5	ジャン＝ジョセフ・デルヴェン	連馬	制作年不詳	油彩・キャンバス	81.5×110.5	大原美術館		
6	エミール・クラウス	レイエ川の水飲み場	1897(明治30)年	油彩・キャンバス	90.5×117.0	姫路市立美術館		
7	エミール・クラウス	フランドル地方の収穫	1904(明治37)年頃	油彩・キャンバス	200.0×220.0	姫路市立美術館		
8	エミール・クラウス	冬の果樹園	1911(明治44)年	油彩・キャンバス	89.3×116.3	大原美術館		
9	ヴィクトール・ド・ビュット	太田喜二郎の肖像	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	73.3×50.0	京都府 (京都文化博物館管理)	5/23～6/18	

(2) 太田喜二郎のベルギー留学

10	太田喜二郎	エスコー河岸	1909-1910 (明治42-43)年	油彩・キャンバス	52.0×73.0	高梁市成羽美術館		
11	太田喜二郎	雪の朝	1910-1911 (明治43-44)年	油彩・キャンバス	74.2×50.0	目黒区美術館		
12	太田喜二郎	樹陰	1911(明治44)年	油彩・キャンバス	89.0×115.0	京都市美術館		
13	太田喜二郎	乳屋の娘	1911(明治44)年	油彩・キャンバス	101.0×75.0	京都国立近代美術館		
14	太田喜二郎	少女	1911(明治44)年	油彩・キャンバス	100.0×80.0	京都府 (京都文化博物館管理)	5/23～6/18	
15	太田喜二郎	窓辺の婦人像	1911-1912(明治44-明治45・大正元)年	油彩・キャンバス	131.0×97.0	京都府 (京都文化博物館管理)	4/29～5/21	
16	太田喜二郎	風景	1908-1913(明治41-大正2)年	油彩・キャンバス	65.2x50.1	目黒区美術館		
17	太田喜二郎	赤い日傘	1912(大正元)年	油彩・キャンバス	162.0×130.0	新潟大学		

(3) 児島虎次郎のベルギー留学

18	児島虎次郎	川辺の風景	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	32.0×40.0	高梁市成羽美術館		
19	児島虎次郎	ランプと暖炉	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	81.0×64.7	高梁市成羽美術館		
20	児島虎次郎	和服を着たベルギーの婦人	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	81.0×64.5	高梁市成羽美術館		
21	児島虎次郎	和服を着たベルギーの少女	1910(明治43)年	油彩・キャンバス	116.0×89.5	高梁市成羽美術館		

番号	制作者名	作品・資料名	制作・発行年	材質技法・形状	寸法	所蔵者	展示期間	展示の有無
22	児島虎次郎	家族	1910(明治43)年	油彩・キャンバス	114.0×162.0	高梁市成羽美術館		
23	児島虎次郎	男の裸像(1)	1909(明治42)年頃	油彩・キャンバス	73.3×55.0	高梁市成羽美術館		
24	児島虎次郎	※太田喜二郎旧蔵の板絵(和服を着たベルギーの少女[小さな隣人])	制作年不詳	油彩・板	33.0×24.0	個人蔵		
25	児島虎次郎	※太田喜二郎旧蔵の板絵(緑陰)	制作年不詳	油彩・板	23.0×32.5	個人蔵		
26-1		※『太田喜二郎旧蔵の生命と光(Vie et Lumière)1911年 第7回展の目録』	1911(明治41)年	冊子	18.2×12.3	個人蔵		
26-2		※太田の留学中の名刺	—	名刺	5.0×8.8	個人蔵		
27-1	児島虎次郎	※止宿先の公園にて太田喜二郎と虎次郎	1909(明治42)年頃	写真	17.5×13.0	個人蔵		
27-2	児島虎次郎	※太田喜二郎のモデル	1909(明治42)年頃	写真	9.0×12.0	個人蔵		
27-3	児島虎次郎	※虎次郎撮影のジャン＝ジョセフ・デルヴァン	1909-1912(明治42-45)年	写真	17.5×13.0	個人蔵		
27-4	児島虎次郎	※虎次郎撮影のエミール・クラウス	1910(明治43)年4月	写真	12.0×9.0	個人蔵		
27-5	武石弘三郎	※弘三郎撮影のエミール・クラウス	制作年不詳	写真	9.0×12.0	個人蔵		
27-6		※武石弘三郎下宿ユツクルのリグール邸に集う、武石、太田、リグール夫妻	1908(明治41)年6月	絵葉書	8.8×13.8	個人蔵		

3 日本の印象派

(1) 外光派と印象派

28	黒田清輝	昼寝	1894(明治27)年	油彩・キャンバス	49.8×61.0	東京国立博物館	4/29～5/21	
29	久米桂一郎	夏の夕(鎌倉)	1894(明治27)年	油彩・キャンバス	42.3×55.0	東京藝術大学		

(2) 帰国後の児島虎次郎

30	児島虎次郎	花鋏を持つ婦人	1913(大正2)年	油彩・キャンバス	161.0×116.0	高梁市成羽美術館		
31	児島虎次郎	酒津の農夫	1914(大正3)年	油彩・キャンバス	162.0×114.5	高梁市成羽美術館		
32	児島虎次郎	親牛仔牛	1916(大正5)年	油彩・キャンバス	111.0×90.0	高梁市成羽美術館		
33	児島虎次郎	酒津の秋	1917(大正6)年	油彩・キャンバス	87.5×115.0	高梁市成羽美術館		
34	児島虎次郎	ブリューージュ舟宿	1920(大正9)年	油彩・キャンバス	130.0×162.5	高梁市成羽美術館		

(3) 帰国後の太田喜二郎

35	太田喜二郎	麦秋	1914(大正3)年	油彩・キャンバス	162.0×130.0	高梁市成羽美術館		
36	太田喜二郎	暖かき日	1915(大正4)年	油彩・キャンバス	116.0×90.0	高梁市成羽美術館		

(4) 斎藤豊作と吉田苞

37	斎藤豊作	フランス風景 III	1910(明治43)年頃	油彩・キャンバス	41.0×47.0	埼玉県立近代美術館		
38	斎藤豊作	羊飼ひ	1906-1912(明治39-明治45/大正元年)	油彩・キャンバス	45.3×38.0	目黒区美術館		
39	吉田苞	朝のマロニへの道(ベルギー・ブルージュ)	1921(大正10)年頃	油彩・キャンバス	100.0×80.5	個人蔵(岡山県立美術館寄託)		
40	吉田苞	赤い支那傘	1926(大正15)年	油彩・キャンバス	91.0×116.8	岡山県立美術館		
41	吉田苞	初秋	1926(大正15)年	油彩・キャンバス	112.5×146.0	株式会社天満屋		
42	吉田苞	酒津の庭	1927(昭和2)年	油彩・キャンバス	117.0×94.0	岡山県立美術館		

番号	制作者名	作品・資料名	制作・発行年	材質技法・形状	寸法	所蔵者	展示期間	展示の有無
----	------	--------	--------	---------	----	-----	------	-------

第2章 命をかたどる:ベルギーの彫刻と日本

1 武石弘三郎のベルギー留学

43	藤島武二	T氏肖像	1909(明治42)年	油彩・キャンバス	35.0×26.0	神奈川県立近代美術館			
44	武石弘三郎	婦人像	1907-1911 (明治40-44)年	大理石	45.0×48.0× 24.0	神奈川県立近代美術館			
45	武石弘三郎	長女萬里子の像	制作年不詳	大理石	41.0×31.7× 28.0	神奈川県立近代美術館			
46	武石弘三郎	母	1917(大正6)年	ブロンズ	35.0x20.5x 25.5	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館			
47	武石弘三郎	海	1928(昭和3)年	大理石	145.0 ×62.0 ×19.0~38.5	神奈川県立近代美術館寄 託			
48	武石弘三郎	裸婦浮彫	1939(昭和14)年	大理石	96.0×75.8× 9.0~13.0cm	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館			
49		『生活美術』1巻3号、ア トリエ社	1941年(昭和16)11 月	雑誌	25.8×18.1	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館			
50	※《武石弘三郎絵葉書(加藤恒忠(拓川)関連資料より)》			はがき	各14.0 ×9.0 程度	正岡子規研究所			
50-1	※武石弘三郎の肖像、ユックルにて 1908年2月8日								
50-2	※《婦人像》(正面) 1905年4月5日								
50-3	※アトリエで大作を制作中のジュリアン・ディレンス 1904年10月10日								
50-4	※モデルを前に制作中の武石 1904年12月15日								
50-5	※石膏像が陳列された美術学校の廊下 1905年7月13日								
50-6	※武石弘三郎と堀口九萬一・スチナ夫妻、リグール夫妻、堀口岩 1908年12月2日								
50-7	※リエージュ万国博覧会(Palais des Fêtes) 1905年8月10日								
50-8	※武石弘三郎と野口駿尾、ユックルにて 1907年5月17日								
50-9	※イタリア旅行先からの葉書(チェッリーニ《ペルセウス像》) 1909年4月8?日								×
50-10	※ジュリアン・ディレンスの作品 1905年2月13日								
50-11	※ジュリアン・ディレンスのアトリエ 1906年10月10日								
50-12	※自作と並ぶ武石弘三郎 ?年10月29日								
50-13	※加藤恒忠に近況を伝える手紙(ヨルダーンス《酒を飲む王様》) 1908年1月9日								
50-14	※フランス旅行先からの葉書(パリ、アレクサンドル3世通りの景観) 1904年5月18日								
50-15	※自作と並ぶ武石弘三郎 1905年								
50-16	※ユックルでの饗宴 1907年11月21日								
50-17	※ユックルでの会合 1907年8月17日								
50-18	※ジュリアン・ディレンスのアトリエ 1905年2月13日								
50-19	※パリのサロンの絵葉書(A.MAUGUET “LA CIGALE”) 1904年5月19日								×
50-20	※フランス旅行先からの葉書(ポール・デュボア《ポール・ボードリーの墓碑》) 1904年5月18日								×
50-21	※ミッデルケルケの加藤夫婦に宛てた葉書(アール・ヌーヴォー調のイラスト) 1905年9月22日								
50-22	※武石弘三郎の肖像、ユックルにて 1906年3月14日								
50-23	※男性肖像彫刻 1905年4月								×
50-24	※《婦人像》(斜め向き) 1905年4月4日								×
50-25	※イタリア旅行先からの葉書(ポンペイ遺跡) 1909年3月20日								
50-26	※リエージュ万国博覧会(Promenade en gondole) 1905年8月4日								

2 コンスタンタン・ムーニエの衝撃

(1)コンスタンタン・ムーニエ

51	コンスタンタン・ムーニエ	坑夫たち	1890年代	水彩、木炭・紙	30.4x22.8	姫路市立美術館	4/29~ 5/14	
52	コンスタンタン・ムーニエ	炭坑夫の俵	制作年不詳	油彩・キャンバス	50.7×38.2	東京藝術大学		
53	コンスタンタン・ムーニエ	坑夫(平櫛田中旧蔵)	制作年不詳	ブロンズ	18.3x23.7	東京藝術大学		
54	コンスタンタン・ムーニエ	※坑夫 (太田喜二郎旧蔵)	制作年不詳	ブロンズ	19.5×25.2	個人蔵		
55	コンスタンタン・ムーニエ	攪鍊工	制作年不詳	石膏着色	17.7×9.5× 6.3	個人蔵		
56		『白樺』1巻5号	1910(明治43)年 8月 (1988年の復刻版)	雑誌	22.1×15.0	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館		

番号	制作者名	作品・資料名	制作・発行年	材質技法・形状	寸法	所蔵者	展示期間	展示の有無
57		武者小路実篤『荒野』 警醒社書店	1908(明治41)年	書籍	19.2×13.0	調布市 武者小路実篤記念館		
58		『學生 世界偉人号』 4巻10号、富山房	1913(大正2)年 9月	書籍	22.3×15.0	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館		
(2) ムーニエに影響を受けた日本の彫刻家								
59	荻原守衛	坑夫	1907(明治40)年	ブロンズ	47.5×45.5× 33.5	東京国立近代美術館		×
60	藤井浩祐	トロを待つ坑婦	1914(大正3)年	ブロンズ	113.0×44.0× 26.0	東京国立近代美術館		
61	吉田三郎	老坑夫	1919(大正8)年	ブロンズ	105.0×67.0× 118.0	東京国立近代美術館		
62	吉田三郎	或る坑夫	1942(昭和17)年	ブロンズ	32.0×30.0× 34.5	石川県立美術館		
63・64	齋藤素巖	丹那トンネル殉職慰霊 碑レリーフ	1935(昭和10)年	石膏着色		小平市		
63		左			78.0×107.0			
64		右			78.0×106.5			
65-68	齋藤素巖	東京株式取引所本館 建築装飾	1931(昭和6)年	ブロンズ		小平市		
65		「農業」			61.5×29.0×33.0			
66		「商業」			61.5×31.0×31.0			
67		「工業」			65.0×31.0×30.0			
68		「交通」			64.0×29.0×35.0			
69	浅野孟府	労働者習作	1988(昭和63)年/ 1930(昭和5)年原 型制作	ブロンズ	41.5×27.5× 27.5	国立国際美術館		

第3章 伝える・もたらす:ベルギー美術の紹介

1 児島虎次郎によるベルギー美術の紹介

70	レオン・フレデリック	花	1920(大正9)年	油彩・キャンバス	74.8×62.5	大原美術館		
71	ウジェーヌ・ ラールマンズ	小径	1918(大正7)年	油彩・キャンバス	141.5×103.0	大原美術館		
72	フランソワ・パイク	※室内風景	1920(大正9)年頃	油彩・板	36.7×38.0	個人蔵		
73	フランソワ・パイク	※古い切妻屋根の家 並、ドラブ通り、ゲント	1920(大正9)年頃	エッチング・紙	42.0×55.0	個人蔵		
74	児島虎次郎	日記	1922(大正11)年 9月30日	日記	19.0×12.7	個人蔵		
75		『東京府美術館主催 泰西美術展覧會圖録 大原孫三郎氏蒐集』	1928(昭和3)年 2月1日発行	冊子	21.0×14.0	高梁市成羽美術館		
76	カール・デ・コック	※ジャン・デルヴァンの 肖像	1913(大正2)年	ブロンズ	10.5×15.5× 4.5	個人蔵		

2 ベルギーと日本の友好の証:戦災と震災のチャリティー展

(1) 第一次世界大戦の戦禍のベルギーを救え「恤兵美術展覧会」

77		『恤兵美術 展覧會目録』	1914(大正3)年 12月	冊子	18.5×12.8	久米美術館		
78	ラファエル・コラン	夏の野	1888(明治21)年頃	油彩・キャンバス	46.6×55.6	久米美術館		
79	黒田清輝	編物	1890(明治23)年	油彩・キャンバス	48.7×59.2	東京国立博物館	5/23~ 6/18	
80	黒田清輝	庭	1890(明治23)年	油彩・キャンバス	47.0×62.0	東京国立博物館	4/29~ 5/21	
81	澤部清五郎	初夏のカフェ	1912(明治45)年	油彩・板	32.5×24.7	目黒区美術館		

(2) 第一次世界大戦の戦禍のベルギーを救え「欧州大家絵画展覧会」

82-1		『三越』8巻6号	1918(大正7)年 6月	雑誌	24.7×18.1	株式会社三越伊勢丹		
82-2		『三越』8巻7号	1918(大正7)年 7月	雑誌	24.7×18.1	株式会社三越伊勢丹		

番号	制作者名	作品・資料名	制作・発行年	材質技法・形状	寸法	所蔵者	展示期間	展示の有無
83	フランク・ブラングイン	パンを焼く男たち	1908(明治41)年	エッチング・紙	51.2×65.1	東京国立博物館		
84	フランク・ブラングイン	ヘントの古い家	1906(明治39)年	エッチング・紙	55.3×60.4	東京国立博物館		×
85	フランク・ブラングイン	船を曳く人々	1906(明治39)年	エッチング・紙	53.8×79.9	東京国立博物館		×

(3) 関東大震災とベルギー大使ド・バツソンピエール

86		『ヴァン・ド・レーヌ作品 展覧会目録』	1934(昭和9)年 12月	冊子	22.9×13.7	個人蔵		
87		『歐洲繪畫展覧会目 録』	1936(昭和11)年 3月	冊子	28.0×22.8	個人蔵		×
88	ジュール・ヴァン・ド・レー ヌ	鏡の前	1952(昭和27)年頃	油彩・キャンバス	90.1×69.9	石橋財団 アーティゾン美術館		
89	ジュール・ヴァン・ド・レー ヌ	牡丹	制作年不詳	油彩・板	50.0×60.0	姫路市立美術館		

3 フェリシアン・ロップス:官能と諧謔

90	原比露志	『ロップス研究 匂へる園 臨時増刊』	1932(昭和7)年9月	書籍	26.4×19.3	個人蔵		
91	原浩三	『ロップス画集』	1933(昭和8)年4月	書籍	26.4×19.0	個人蔵		
92	フェリシアン・ロップス	スフィンクス	1884(明治17)年	エリオグラヴュール・ 和紙	16.2×24.0	姫路市立美術館	4/29～ 5/21	
93	フェリシアン・ロップス	好奇心の強い女	1885(明治18)年	エリオグラヴュール、ドライ ポイント・レイド紙	13.5×9.3	姫路市立美術館		×
94	フェリシアン・ロップス	生贄 I	制作年不詳	エリオグラヴュール、ソフト ヴァーニッシュ、ルーレット、 エッチング、ドライポイン ト・紙	24.1×16.1	姫路市立美術館		×
95	フェリシアン・ロップス	年老いた召使 I (第5 版)	1874-1875 (明治7-8)年	エリオグラヴュール、アク アチント、ドライポイント・ 紙	12.5×9.0	姫路市立美術館		×
96	フェリシアン・ロップス	誘惑(第2版)	1867(慶応3)年	エッチング、ドライポ イント・紙	7.8×6.3	姫路市立美術館	5/23～ 6/18	
97	フェリシアン・ロップス	リュパニー(第3版)	1867(慶応3)年	エッチング、ドライポ イント・紙	9.5×5.9	姫路市立美術館		×
98	フェリシアン・ロップス	赤ちゃん(第1版)	1876(明治9)年	エッチング、ドライポ イント・紙	12.1×9.0	姫路市立美術館		×
99	フェリシアン・ロップス	カルセルランプに 照らされた女	1876(明治9)年	ソフトヴァーニッ シュ・紙	22.6×16.9	姫路市立美術館	4/29～ 5/21	
100	フェリシアン・ロップス	戦うビーナス	1875(明治8)年	ドライポイント・紙	15.1×10.3	姫路市立美術館		×
101	フェリシアン・ロップス	成熟	1887(明治20)年	ソフトヴァーニッシュ、ドラ イポイント、アクアチント・ 紙	16.7×12.8	姫路市立美術館		×
102	フェリシアン・ロップス	骸骨を見る女と ジャックマールの門番	制作年不詳	エッチング、ソフトグランド エッチング、ドライポイン ト・ウォーヴ紙	10.5×14.8	姫路市立美術館	5/23～ 6/18	
103	フェリシアン・ロップス	小さなモデル (第1版)	1879(明治12)年	エッチング、ドライポ イント・紙	14.8×11.0	姫路市立美術館		×
104	フェリシアン・ロップス	毛皮の上に座る女	1875(明治8)年	エリオグラヴュール・ ウォーヴ紙	10.4×12.7	姫路市立美術館		×

4 瀧口修造とルネ・マグリット

105		『海外超現実主義 作品展目録』	1937(昭和12)年 6月	冊子	19.0×13.3	個人蔵		
106		『みづゑ 臨時増刊 海 外超現実主義作品集 Album Surrealiste』	1937(昭和12)年 5月	雑誌	25.9×19.0	個人蔵		
107	瀧口修造	雑誌『みづゑ』第414号	1939(昭和14)年 6月	雑誌	26.0×19.0	個人蔵		
108	ルネ・マグリット	《言葉と絵》『シュールレアリ ストの革命』第12号	1929年12月(1975 年の復刻版)	書籍	29.4×21.0	個人蔵		
109	ルネ・マグリット	博学な樹	1926(大正15)年	油彩・キャンバス	65.0×75.0	新潟市美術館		×
110	ルネ・マグリット	ジョルジェット	1935(昭和10)年	油彩・キャンバス	65.0×75.5	姫路市立美術館		
111	ルネ・マグリット	再開	1965(昭和40)年	油彩・キャンバス	40.5×33.0	東京富士美術館		